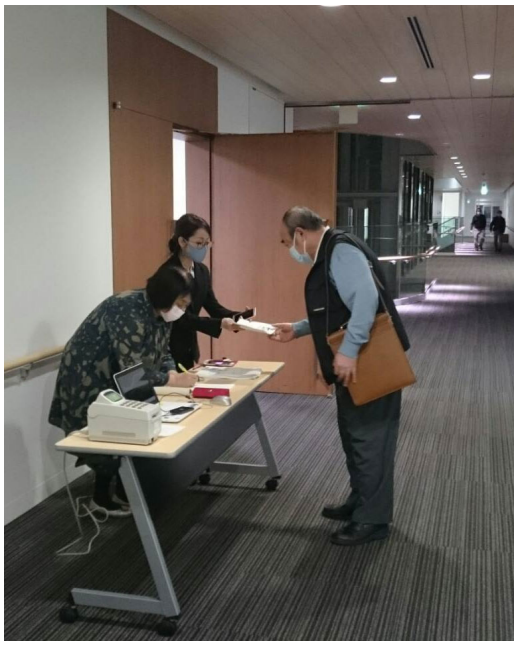
高崎市地域保険委員会　訪問歯科勉強会報告書

令和２年 10 月 31 日　土曜日 19 時～21 時

演題　【在宅歯科医療の現状】

講師　　高田正典 先生 （日本歯科大学在宅ケア新潟クリニック診療科長）

　在宅歯科医療の現状というテーマで、日本歯科大学在宅ケア新潟クリニック診療科長の高田正典先生にご講演いただきました。





　新型コロナウイルスの終息が見えない状況の中、今回は新しい試みとなるズームを使ってのオンライン受講と第４会議室を使っての受講となりました。

　保健センター第４会議室会場では約４０名、オンラインでは約３０名と多くの先生方に参加していただきました。

ズームを使用しての勉強会の開催は初の試みとなるので、当日までに委員会の委員でズームや機材の接続の打ち合わせを重ねてきました。講演当日は大きなトラブルもなく、無事時間通り終了となりました。

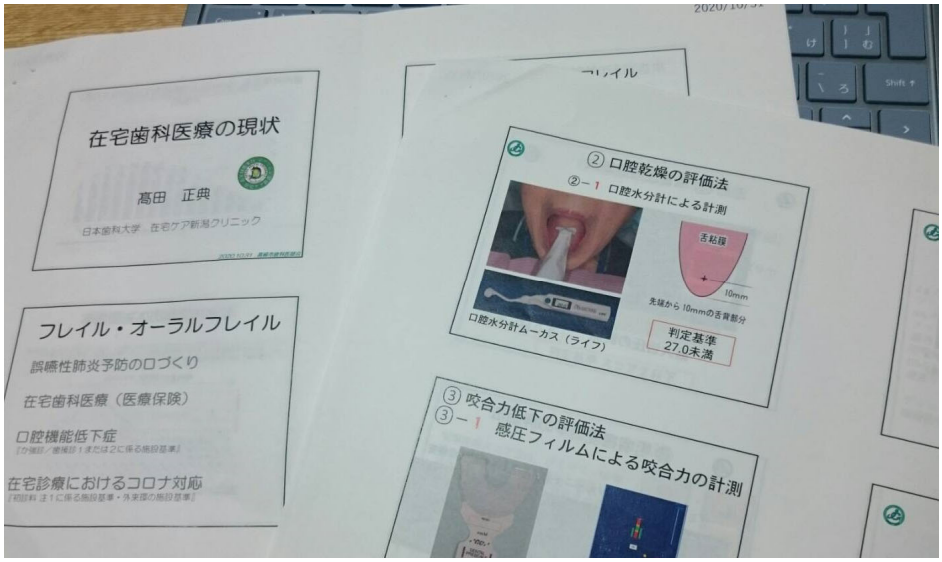


講演の内容は『フレイル・オーラルフレイル』『誤嚥性肺炎予防の口づくり』『在宅歯科医療(医療保険)』『口腔機能低下症』『在宅診療におけるコロナ対応』という約２時間でした。

在宅医療についてどの項目もわかりやすい説明と、実際に役立つ情報を提供していただきました。

口腔機能低下症では、検査方法、評価方法、保険診療の流れ、更に評価後の具体的な口腔機能訓練の方法など、詳しく教えていただき大変勉強になりました。また、医療保険では詳しく訪問診療の算定、留意事項を教えていただきました。

特に印象に残ったのは、講師の先生が「これからは治す医療から支える医療に変わる。多職種連携が大切になる」という言葉です。



講義で学んだオーラルフレイルを放置すると、要介護、サルコペニア、死亡リスクが上昇してしまう事は、歯科医師以外の職種の方も関心を持っている話だと思います。

今後もこのような在宅医療勉強会を通じて学んだ事を多職種連携で生かし、歯科医師が『支える医療』の一員として貢献していく事が大切であると感じました。